

各 位

上場会社名  
代表者  
(コード番号  
問合せ先責任者  
(TEL

株式会社 オプト  
代表取締役社長 鉢嶺登  
2389)  
取締役CFO 石橋宜忠  
03-3219-7654)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,700	280	300	40	270.08
今回発表予想(B)	26,810	380	438	300	2,031.94
増減額(B-A)	2,890	100	138	260	
増減率(%)	9.7	35.7	46.0	650.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年12月期第2四半期)	23,561	517	496	369	2,504.56

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	63,300	1,360	1,390	700	4,726.41
今回発表予想(B)	57,600	900	1,000	540	3,646.09
増減額(B-A)	5,700	460	390	160	
増減率(%)	9.0	33.8	28.1	22.9	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	53,656	1,323	1,315	1,076	7,283.97

平成21年12月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	300	330	60	405.12
今回発表予想(B)	25,091	409	466	105	712.46
増減額(B-A)	2,909	109	136	45	
増減率(%)	10.4	36.3	41.2	75.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年12月期第2四半期)	20,325	361	383	795	5,395.22

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,300	1,250	1,310	540	3,646.09
今回発表予想(B)	53,700	840	940	150	1,012.80
増減額(B-A)	5,600	410	370	390	
増減率(%)	9.4	32.8	28.2	72.2	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	47,504	1,128	1,195	444	3,009.06

## 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間業績予想の修正理由

当社が平成21年2月13日に公表いたしました平成21年12月期第2四半期累計期間業績予想(連結・個別)につきまして、第1四半期(平成21年1月～3月)までは堅調に推移しておりましたが、第2四半期に入り景気低迷による顧客の広告費抑制傾向が一層強まり、その影響を主力の広告代理事業分野が受けたため、売上高については前回予想を第2四半期累計期間で連結業績は2,890百万円、個別業績は2,909百万円下回る見込みとなりました。

営業利益については、売上高減少により売上総利益額が低下したものの、販管費を抑制したことによって前回予想を第2四半期累計期間で連結業績は100百万円、個別業績は109百万円上回る見込みとなりました。なお、販管費抑制の主な内容は、100百万円を見込んでいた貸倒引当金が5百万円に納まったほか、全般的な経費削減に取り組んだことであります。

経常利益については、営業利益の増加などにより、前回予想を第2四半期累計期間で連結業績は138百万円、個別業績は136百万円上回る見込みとなりました。

四半期純利益については、連結業績は前期に事業譲渡を行った子会社(株式会社オプトゴルフ 旧商号:株式会社ALB

A)の清算完了に伴い、前期に計上していた法人税等調整額の戻りが223百万円発生したため、前回予想を第2四半期累計期間で260百万円上回る見込みとなりました。また、個別業績では、営業利益・経常利益の増加から前回予想を第2四半期累計期間で45百万円上回る見込みとなりました。

(2)通期業績予想の修正理由

以下の理由により、平成21年2月13日に公表した平成21年12月期通期業績予想(連結・個別)を修正いたします。  
第3四半期と第4四半期に関しては、景気の先行きが不透明なことから顧客の広告費抑制傾向は続くと考えており、主に広告代理事業分野が影響を受けることで連結業績・個別業績で売上高減少を見込んでおります。  
営業利益については、連結業績・個別業績で売上高減少に伴う売上総利益額の減少により、前回予想から減少する見込みであります。なお、販管費については、引き続き抑制に努めてまいりますが、売上総利益額の減少を補うには至らない見込みです。  
経常利益につきましては、営業利益の減少により、連結業績・個別業績で減少する見込みです。  
当期純利益につきましては、経常利益の減少などにより連結業績・個別業績で減少する見込みです。なお、連結業績につきましては、第2四半期累計期間に発生した法人税等調整額の戻りが影響しており、個別に比べて減少額は小さくなる見込みです。

(ご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は、今後の様々な要因などによりこれら予想値とは異なる場合があります。

以 上